

4. 意見交換

『減災や流域治水に関する酷暑期・寒冷期における取組について』

【資料-4】

江別市

## ■ 通期 取組内容

- ・ 学校、自治会などを対象に出前講座を実施。  
令和7年度:65回派遣、約4,250人を対象(予定含む)
- ・ 防災訓練、備蓄品の管理等(ガス式発電機、寝袋、アルミマットなど)

## ■ 酷暑期 取組内容

- ・ 熱中症警戒アラート発表に伴う、クールシェアスポットの広報
- ・ 主要な避難所に大型サーキュレーターを備蓄

## ■ 寒冷期 取組内容

- ・ 出前講座(講話・HUG)や市広報などで、冬期に必要な備蓄品や防災知識の周知・広報
- ・ 主要な避難所に暖房器具の備蓄、孤立想定地域対応
- ・ 寒冷期の防災をテーマとした自主防災研修会の開催(令和7年度)

## ■自主防災研修会、地域連携避難所運営訓練等の実施(令和7年度)

- 地域連携避難所運営訓練  
第1回7月12日 82人参加  
第2回12月13日88人参加



- 自主防災研修会(第1回)  
テーマ「避難所運営と閉鎖」  
5月24日 95人参加



- 自主防災研修会(第2回)  
テーマ「厳冬期に災害が起きたら」  
1月31日 87人参加



## ■酷暑期や寒冷期において使用する防災備蓄品の確保等

### ■サーキュレーター



### ■ジェットヒーター



### ■ポータブルストーブ



### ■クールシェアスポットの周知

ご活用ください!

#### クールシェアスポット

クールシェアとは、一人1台のエアコン使用などをやめ、涼しい場所を共有することで、家庭から排出される二酸化炭素の削減を目指す取り組みです。



#### 市内クールシェアスポット

- ・各公民館 ・情報図書館
- ・市役所本庁舎1階
- ・市民交流施設「ぶらっと」
- ・江別蔦屋書店 など

COOL SHARE



クールシェアスポットが探せます▲

千歳市

# 千歳市 酷暑期・寒冷期における取組について（防災）

## 1 酷暑期の避難所対応

避難所内に冷房機器が設置されている部屋がある場合には、その部屋をクーリングシェルターとして活用。



冷房機器が設置されていない場合は、避難所の一角にクーリングシェルターを確保できるよう、スポットクーラーや扇風機等の各施設が保有する備品を活用することを想定。



## 2 厳寒期対策備蓄品の整備

交通網の寸断や厳寒期の避難所生活といった能登半島地震の課題を踏まえ、当市の災害対応能力の向上を図ることを目的に、飲料水及び燃料の備蓄を行った。

※来年度は使い捨てカイロの整備を予定。



## 3 防災協定の積極的な締結

避難所生活において、被災住民が安心して生活できるよう民間企業との積極的な防災協定の締結を実施した。

- ① 発泡スチロール製品（ポリエチレンシート・魚箱）の提供に協定
- ② キッチンカーによる炊き出しの実施に関する協定



惠庭市

# 減災や流域治水に関する酷暑期・寒冷期における取組について(恵庭市)

## 酷暑期における取組

田んぼダム



水田貯留機能増進対策協議会」が、平成20年度に結成され、田んぼダム活動を実施している。

流出抑制



平成26年度より、一般住宅以外を対象に敷地面積500㎡以上でかつ敷地の半分以上が屋根または舗装等に覆われている土地について指導を行っている。

## 寒冷期における取組

排水路床ざらい



雪解時の融水をスムーズに排水することを目的として、農業用排水路の床ざらいを行っている。

## 年間を通じた取組

一日防災学校



年間を通じて地域や学校等での防災講座の際に、酷暑期、寒冷期それぞれで注意しなければいけない事項について事例等を用いて解説し、防災知識の普及に努めている。

北広島市

# 北広島市

# 減災に関する取組

減災や流域治水に関する酷暑期・寒冷期における取組について

## 酷暑期における取組

- 1 暑さ対策における呼び掛け**
  - ・避難所に空調設備がない施設も・・・  
携帯型扇風機や経口補水液等の暑さ対策グッズの備えについて出前講座や防災教室で広報
- 2 酷暑時期における水防訓練の実施**
  - ・出水期の災害を想定（7月17日実施）
  - ・参加者111名・見学者40名
  - ・体調管理のため、保健師を配置
- 3 災害時応援協定の締結推進**
  - ・災害時に不足する避難所での冷房機器を協定に基づき要請
  - ・「災害時における資機材の供給に関する協定」締結（R06.07.31）



水防訓練 最高気温：30.2℃



災害時における資機材の供給に関する協定

# 北広島市

# 減災に関する取組

減災や流域治水に関する酷暑期・寒冷期における取組について

## 寒冷期における取組

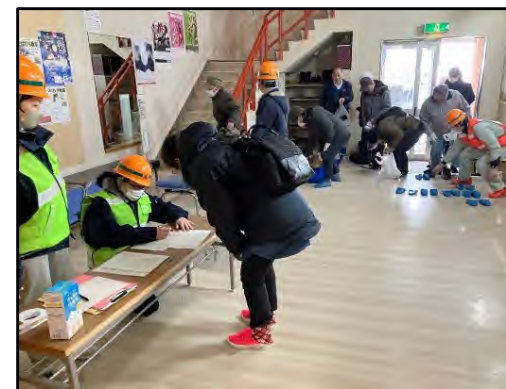
- 1 寒冷期用防災資機材の備蓄**
  - ・ポータブルストーブなど暖房器具  
(灯油ストーブ：164基)
  - ・採暖用アルミポンチョ (1,870個)
  - ・携帯カイロや寒冷用寝袋など
- 2 厳冬期における避難所開設・運営訓練の実施**
  - ・条件が厳しい1月下旬ごろ毎年実施
  - ・市職員や市内在住の防災士、北海道地域防災マスター、市民が参加
  - ・西部地区で実施 (毎年実施地区変更)
- 3 災害時応援協定の締結推進**
  - ・災害時に不足する暖房器具等を協定に基づき支援要請
  - ・「災害時における資機材の供給に関する協定」締結 (R06 .07 .31)



ポータブルストーブ



採暖用ポンチョ



厳冬期における避難所開設訓練  
今年度は令和8年1月30日に実施

# 北広島市

# 流域治水に関する取組

減災や流域治水に関する酷暑期・寒冷期における取組について



倒木処理（中の沢川）



浚渫（中の沢川）



防災教育（出前講座）



田んぼダム

南幌町

# 減災や流域治水に関する酷暑期・寒冷期における取組

南幌町では、町民の生命や財産を守るため、近年頻発・激甚化する酷暑、集中豪雨、大雪・厳寒といった気候リスクに対し「自助」「共助」「公助」に対する基本的な考え方を広く共有し、平常時における防災・減災の備え、防災意識や知識の向上など、地域防災力の強化を図るため防災教育を推進している。また、住民への情報伝達として、各家庭・事業所にJアラートと連動した戸別受信機を設置している。

## 酷暑期の取組

### 【想定リスク】

集中豪雨による内水氾濫や避難所等での熱中症、食中毒の発生

### ◎町民を対象とした防災訓練の実施

◆令和7年度防災訓練（R7.8.31）では熱中症予防として、送風機や飲料水の自動販売機フリーバンド、訓練会場でのクーリングシェルターを実施し、町民参加による避難所運営机上訓練（Doはぐ）や消防団による土のう作り、日赤奉仕団のカレーライス炊き出し（右写真）等を実施した。



### ◎町内公共施設でのクーリングシェルターの実施

◆熱中症予防として、7月から8月に町内公共施設3か所でクーリングシェルター（なんぽろ涼み処）を実施した。

◎熱中症警戒アラート発令時に防災行政無線やSNS等を活用した注意喚起の実施

## 寒冷期の取組

### 【想定リスク】

大雪・吹雪による交通障害、孤立、停電や燃料不足による低体温症、凍結による生活インフラ被害

### ◎町民を対象とした防災訓練の実施

◆令和6年度防災訓練（R7.2.8）では避難所の停電を想定し、施設設備を使用せず、防災備蓄品の灯油ポータブルストーブや毛布、寝袋での保温効果の検証と発電機から電力を供給し投光機による光を確保し、段ボールベット、間仕切りテントを設営し、また避難時の炊き出し訓練として、町の防災備蓄品のアルファ化米と日赤奉仕団による豚汁の提供を行ない、低温の会場内で食事をするなど、冬季の避難生活を体験した。  
また、同日に自衛隊車両を使用し災害時要支援者を福祉避難所へ搬送する訓練を実施した。

## 通年の取組

### ◎行政区・町内会・団体等に出向く防災学習会を開催



◆行政区出前講座（R7.11.16）  
・避難所設置体験・非常食炊出し

◆赤十字奉仕団出前講座（R7.11.10）  
・地震・寒冷期の講話・避難所設置体験

## 今後の取組

### ◎防災備蓄品の整備

第3次南幌町災害備蓄品整備計画（R5-R9）に基づく整備  
アレルギー対応食品、生活必需品、大型ストーブ、発電機

### ◎Jアラートと連動した個別受信機の設置促進

全世帯、事業所等設置率（93.2%）

### ◎指定避難所の冷房設備の設置

### ◎出水期・降雪期を見据えた平時からの防災学習会の開催

長沼町

# 変化する長沼町の気候

- ・令和に入り、長沼町でも本州のような夏の暑さを記録するようになった。
- ・最高気温が35℃以上の猛暑日になることも珍しくなくなりつつある。
- ・町所管の避難所においても暑さへの対応が求められている。

順位	日付	最高気温
1	令和6年8月12日	36.3℃
2	令和7年7月24日	35.7℃
3	令和7年7月25日	35.6℃
4	令和5年8月24日	35.2℃
5	令和5年8月25日	35.1℃
6	令和3年7月31日	35.0℃

気象庁「過去の気象データ」より



# 酷暑期における取組について



- スポットクーラー  
災害時は各避難所で使用  
(7台保有)



- 冷房取付工事 (令和6年度)  
総合保健福祉センターりふれ  
(指定福祉避難所)

# 寒冷期における取組について



- ジェットヒーター  
（4台保有）



- 対流型石油ストーブ  
（26台保有）



- 暖房用の備蓄灯油  
（毎秋ストックし、使用しな  
かった分は別施設にて使用）